

## 広域連携計画

はじめに

- 1 被害様相
  - 2 方針
  - 3 対応の検討
- まとめ

# 目次

はじめに

1 被害様相

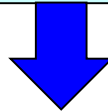
2 方針

3 対応の検討

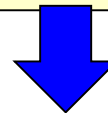
まとめ

# 目的

- 広域で生じる被害様相の共通認識
- 広域連携の内容とその際の課題の把握



課題の発見と検討の場・出会い(顔の見える関係)の場



継続的なカイゼン(対応力の向上)

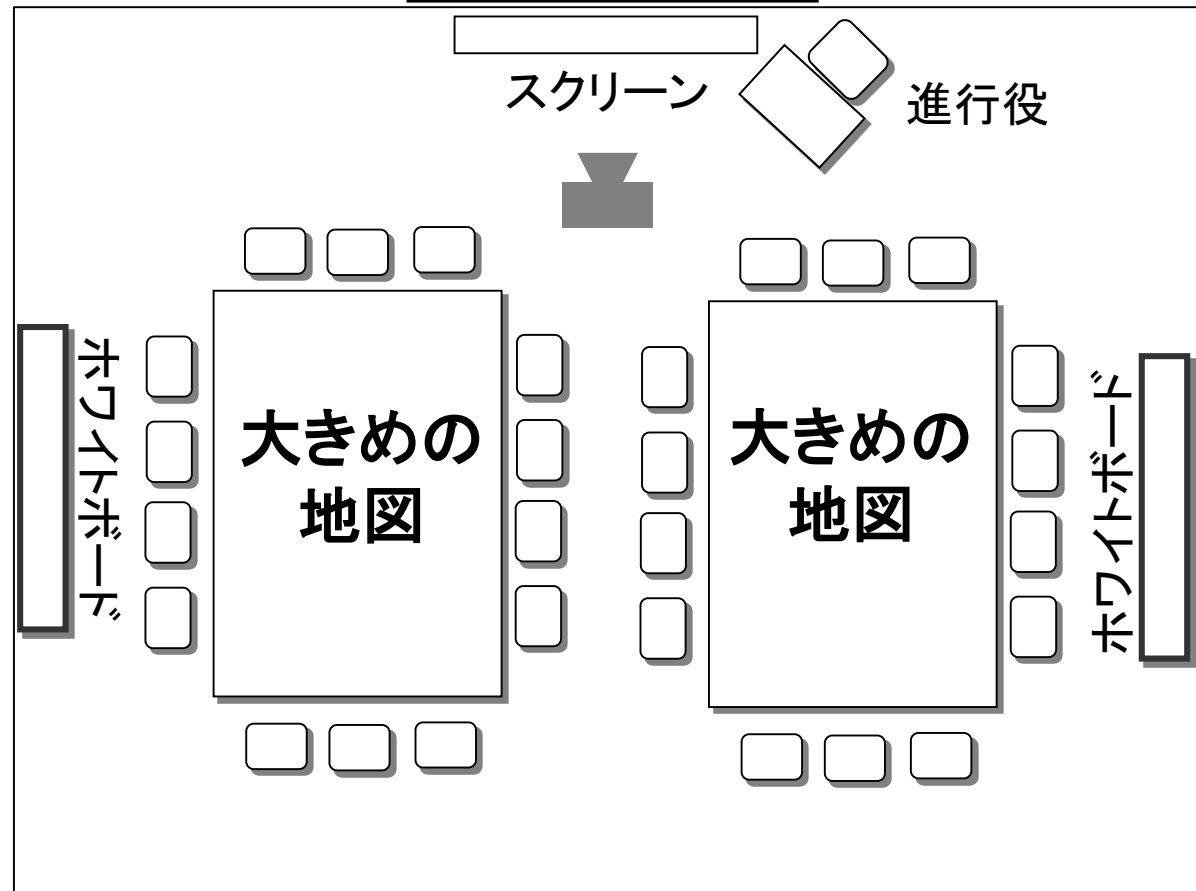
# 会場イメージ

## 参加機関の例

- ・各県の防災部局
- ・各県警
- ・自衛隊
- ・海上保安庁
- ・国土交通省
- ・鉄道
- ・高速道路
- ・電力
- ・通信
- ・その他



## 会場のイメージ



# 目次

はじめに

1 被害様相

2 方針

3 対応の検討

まとめ

# 被害様相の洗い出しと共有

## 被害様相(相場観で)

- ・震度分布
- ・津波高
- ・住宅・人的被害
- ・道路被害と孤立地域
- ・鉄道被害
- ・空港・港湾被害
- ・電力被害
- ・通信被害



# 被害様相の洗い出しと共有

## 例

- 沿岸部の揺れと津波が大きい。都市では甚大な被害、集落では孤立が発生する。
- 発電所が揺れ・津波により大きな被害を受ける。各戸の電力復旧は人海戦術で対応するしかない。長期に停電するであろう。
- 電力が止まると交換局やアンテナ基地局のバッテリーは1日程度しかもたない。輻輳の前に物理的に通信機能を失う。
- 道路・鉄道被害が大きい。安全確認にも移動手段がなく時間がかかる。孤立する地域が多い。大規模土砂災害なら復旧に数ヶ月。
- 高速道路も斜面崩壊の被害が多いと考えられる。
- 空港は液状化・津波で被害が大きい。しかも停電。

# 目次

はじめに

1 被害様相

2 方針

3 対応の検討

まとめ



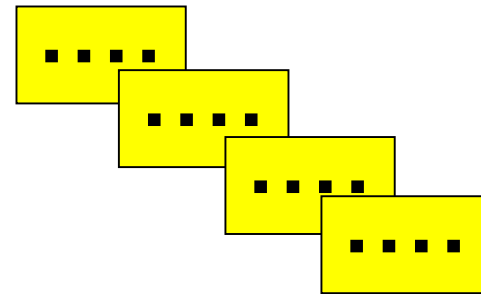
# 方針(広域連携のテーマ)

	平常時	警戒期	初動期	緊急対応期	復旧期	生活再建
行政の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>●防災計画</li> <li>●被害抑止対策</li> <li>●防災意識向上</li> <li>●自主防活性化</li> <li>●訓練</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●危険早期把握</li> <li>●観測情報～警戒宣言周知</li> <li>●予防対策</li> <li>●安全な避難</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●拠点の立上げ</li> <li>●緊急応援要請</li> <li>●道路啓開</li> <li>●救出・救護</li> <li>●消火</li> <li>●安否確認</li> <li>●安全確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●避難所運営</li> <li>●要援護者支援</li> <li>●飲食料配布</li> <li>●生活物資配布</li> <li>●広域応援要請</li> <li>●応急復旧</li> <li>●建物被害調査</li> <li>●罹災証明発行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●がれき処理</li> <li>●施設の復旧</li> <li>●仮設住宅建設</li> <li>●生活支援策の実施</li> <li>●事業再開支援策の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●復興まちづくり</li> </ul>

広域連携とは？いつ・どのようなことが望まれるか？

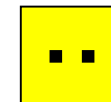
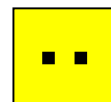
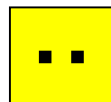
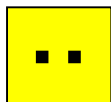
初動期	被害状況把握
	道路啓開
	救出救護・消火
	広域搬送
緊急対応期	被災者支援
	関連死防止
復旧期	仮設住宅建設
	ガレキ撤去
生活再建期	復興まちづくり

ポストイット1枚に1項目、何枚でも可

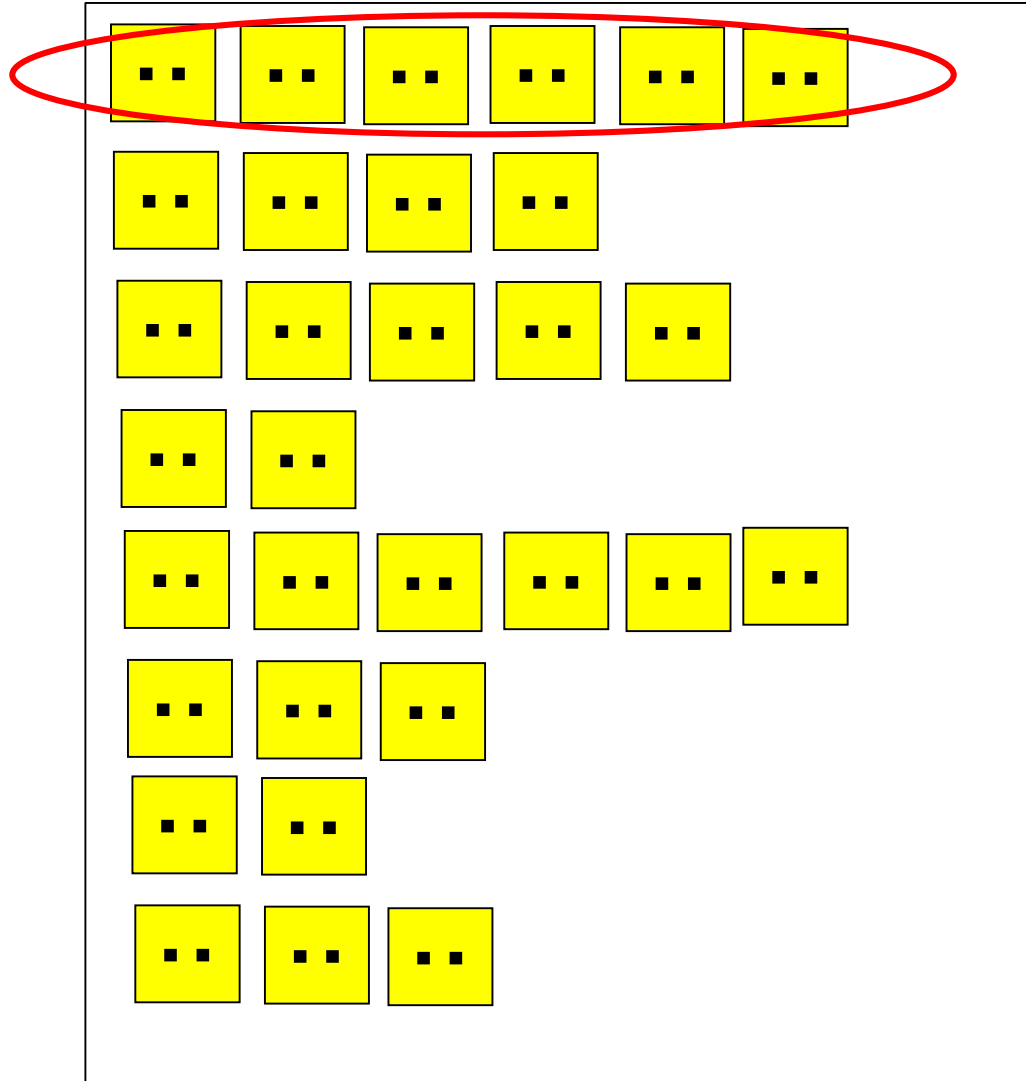


# 広域連携とは？いつ・どのようなことが望まれるか？

最初の一人が張り出す



# 全員が張り出す 同じような意見は横に並べる



# 目次

はじめに

1 被害様相

2 方針

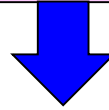
3 対応の検討

まとめ

# 対応の検討①

被害状況把握について

各機関の情報収集活動は？（いつ、何を、どうやって）



どのような連携が可能か？

# 対応の検討 例①

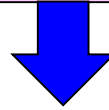
## 情報共有について

- ・自衛隊の空撮映像を国交省の光ファイバーのネットワークを使って共有を行いたい。
- ・大型ヘリが離着陸可能なヘリポート情報の共有を図りたい。
- ・一元的な通行可能な道路情報の共有を図りたい。

# 対応の検討 ②

道路啓開ほか

各機関の活動は？介(いつ、どこで、どうやって)



どのような連携が可能か？

# 対応の検討 例②

## 道路啓開ほか

- ・最重要は甚大な被害が出る沿岸部の〇〇市へのアクセスだろう。
- ・被災地外から大規模な戦力投入は高速道路が最も早い。陸自のみの戦力では1週間はかかる。道路啓開に協力を。
- ・その間は空路のみとなるが空港被害が大きく固定翼機は難しい。大型ヘリのピストンになる。往きは救助隊員・医療人・物資、帰りは負傷者か。



# 目 次

はじめに

1 被害様相

2 方針

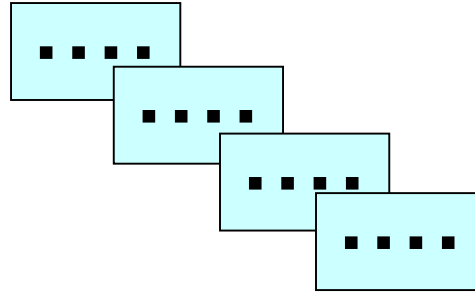
3 対応の検討

まとめ

# まとめ

広域連携として検討すべき課題は？

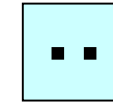
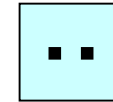
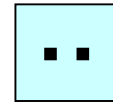
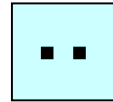
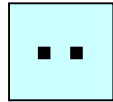
ポストイット1枚に1項目、何枚でも可



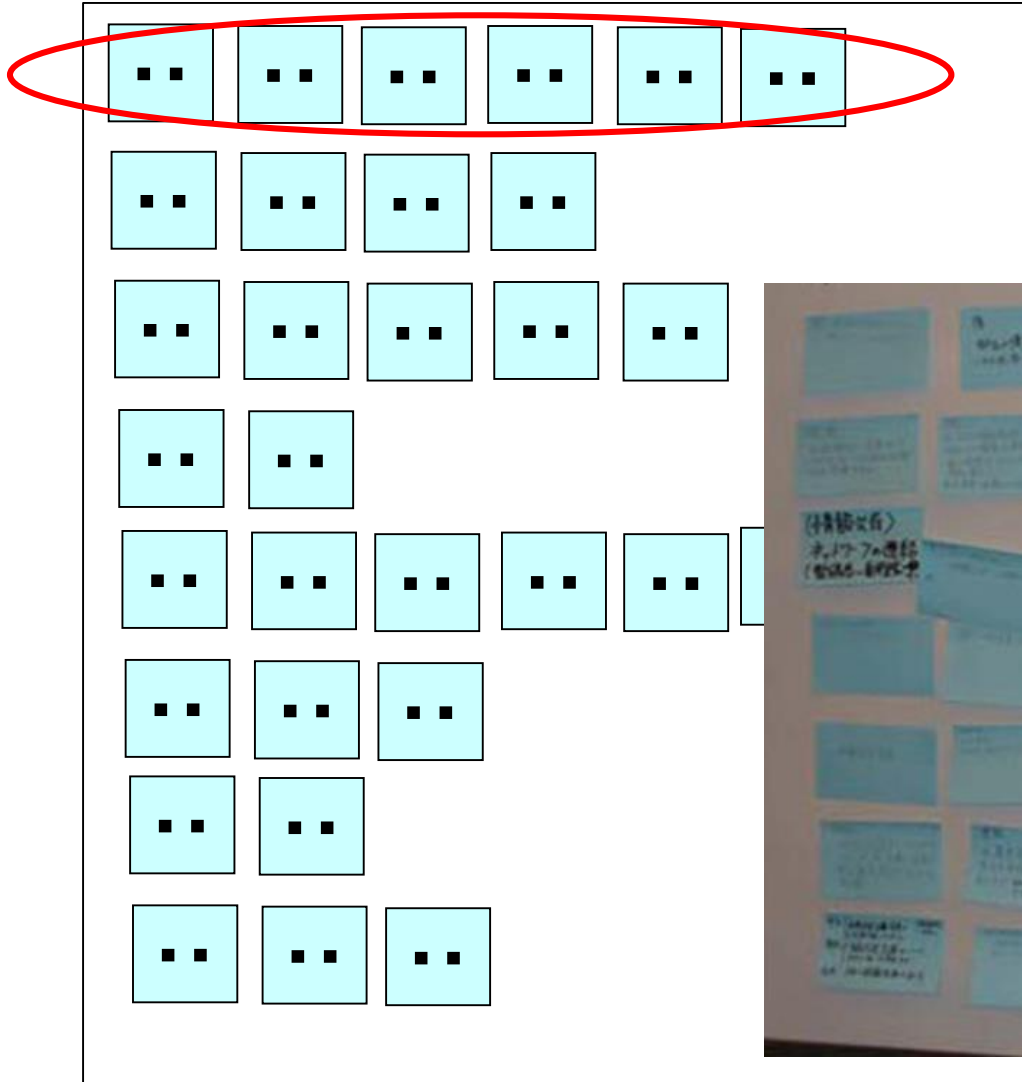
# まとめ

広域連携として検討すべき課題は？

最初の一人が張り出す



# 全員が張り出す 同じような意見は横に並べる



# まとめ 例

## 情報共有

- ・自衛隊が収集する発災後の初期情報を早期に共有する方策
- ・災害時における道路情報の一元的な提供
- ・民間を含めたすでに整備しているネットワークを活用した情報共有の仕組み

## 広域連携

- ・地震発生後に利用可能な臨時ヘリポートの情報が必要
- ・緊急輸送道路確保のための道路啓開作業および交通規制に関する関係機関相互の連携
- ・地域外も含めた広域的な救急医療体制の構築
- ・地震発生後に排出されるガレキなどの処理方法